

# 平成20年3月期 決算説明資料



**JASDAQ**

Listed Company 6488



# 平成20年3月期 決算概要

# 平成20年3月期の総括



サブプライムローン問題に端を発した国際的な金融不安が深刻化する中、原油・原材料高や急激な為替変動、株価低迷などが重なり、景気の先行きは厳しさを増してきました。

売上高は堅調に推移した民間設備投資の影響や提案型営業の推進、好調な子会社の連結効果、価格改定の効果などにより増収となり、過去最高の売上高を計上いたしました。

しかしながら損益面では、原価低減や生産効率化により利益の確保に努め、また関係会社は順調に推移しましたが、以下の要因により経常利益、当期純利益ともに減益となりました。

原油や素材の高騰

タイバーツ為替レート高騰

決算期末の急激な為替変動や株価低迷などによる年金資産の評価減

製品カタログ (ガイドブック) の大幅な改訂による一時費用の発生

# 平成20年3月期の連結貸借対照表



(単位:千円)

	前期	今期	増減額
流動資産	5,149,523	5,967,512	817,988
有形固定資産	1,838,588	1,707,990	130,598
無形固定資産	150,441	114,375	36,065
投資その他資産	1,932,460	1,589,173	343,286
固定資産	3,921,490	3,411,539	509,950
資産合計	9,071,014	9,379,051	308,037
流動負債	1,423,170	1,368,179	54,991
固定負債	453,753	483,232	29,478
負債合計	1,876,924	1,851,411	25,513
純資産合計	7,194,089	7,527,640	333,551
負債純資産合計	9,071,014	9,379,051	308,037

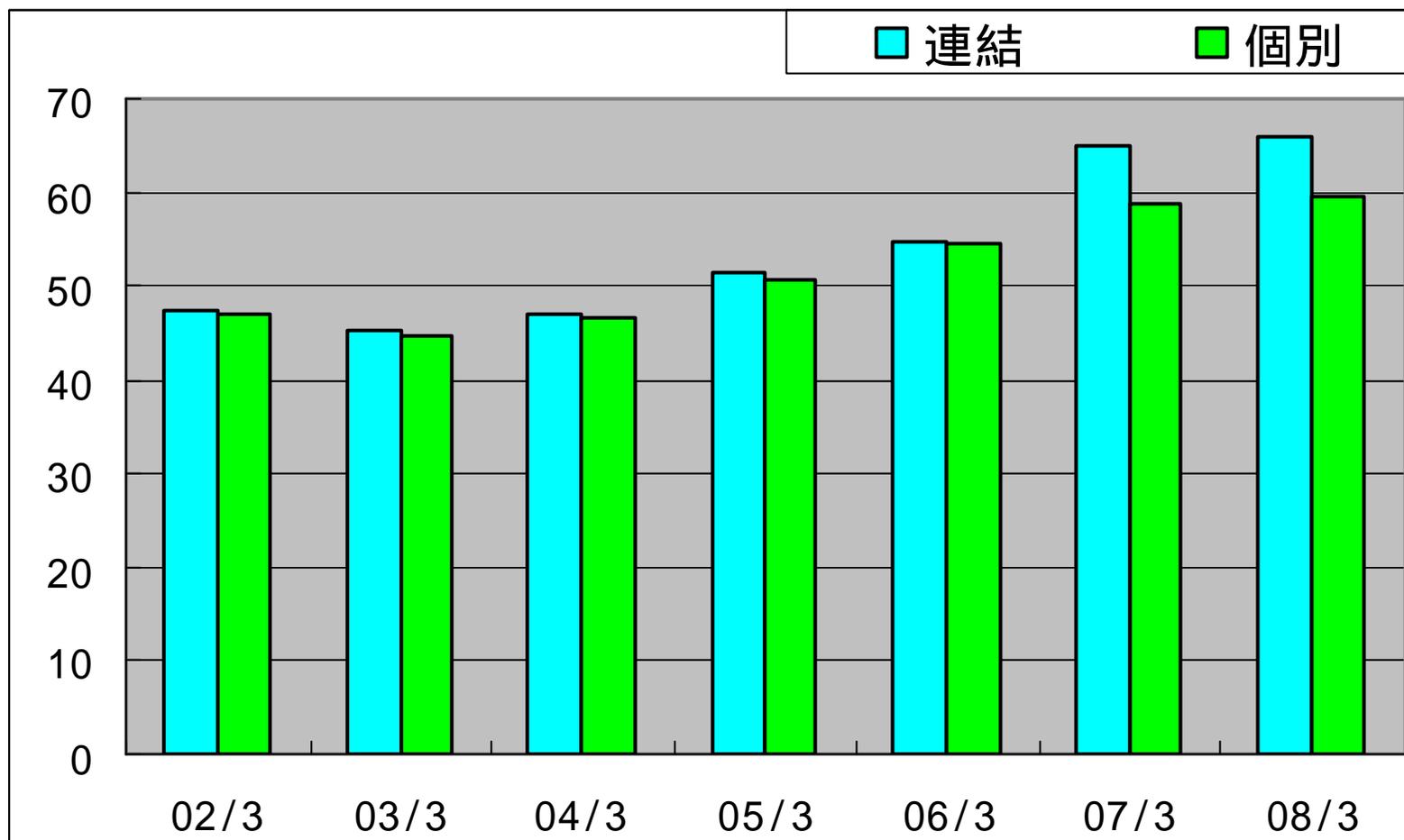
# 平成20年3月期の連結損益計算書



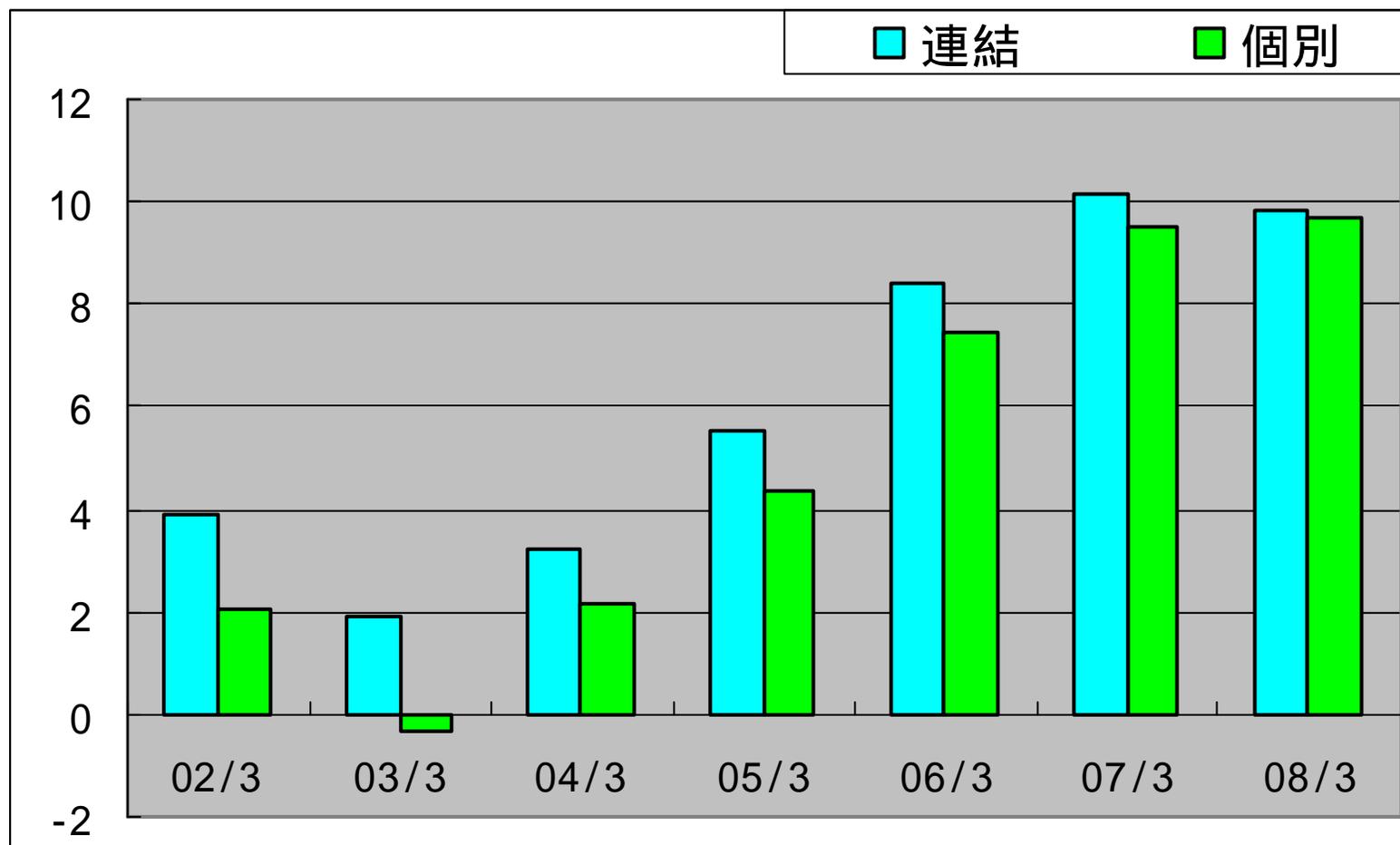
(単位:千円)

	前期	今期	増減額
売上高	6,495,779	6,597,867	102,087
売上原価	3,718,456	3,787,369	68,913
売上総利益	2,777,323	2,810,497	33,173
販売費及び一般管理費	2,015,389	2,109,652	94,262
営業利益	761,933	700,844	61,089
営業外収益合計	270,103	310,885	40,781
営業外費用合計	20,369	25,926	5,557
経常利益	1,011,668	985,802	25,865
特別利益合計	1,589	4,201	2,612
特別損失合計	13,098	6,775	6,322
税金等調整前当期純利益	1,000,159	983,228	16,930
法人税、住民税及び事業税	335,841	386,000	50,159
法人税等調整額	23,072	2,949	26,021
当期純利益	641,245	600,178	41,066

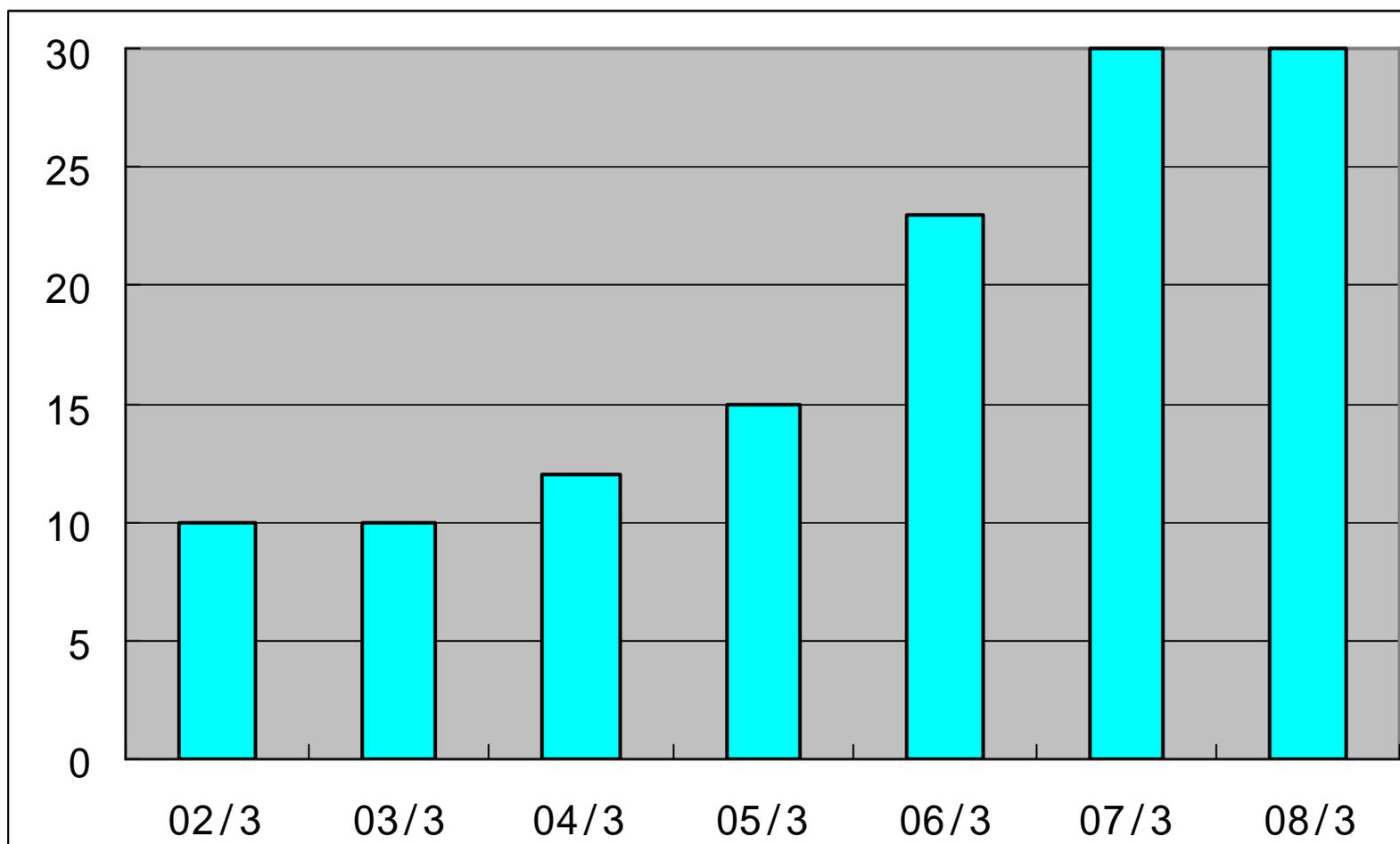
# 売上高の推移



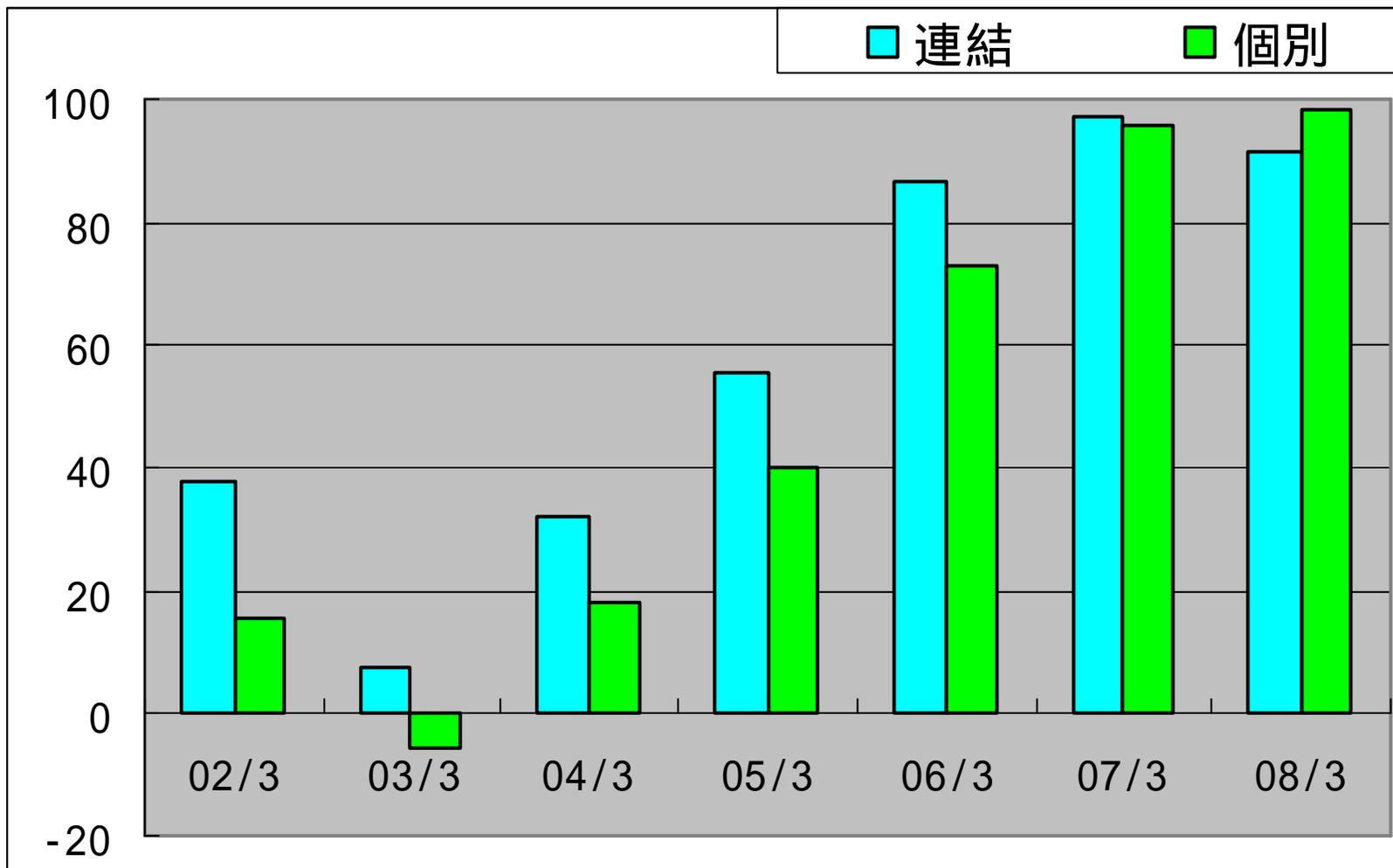
# 経常利益の推移



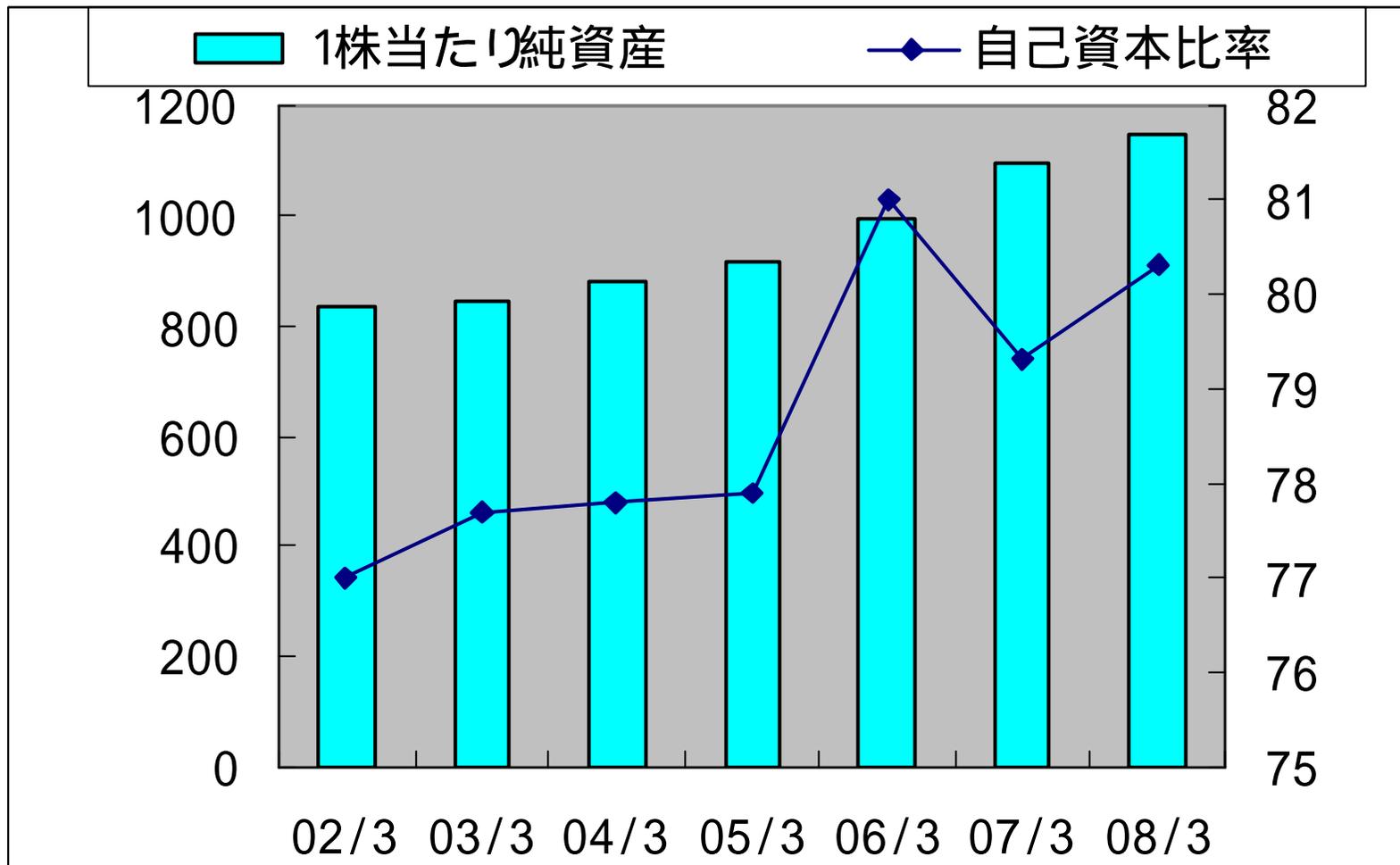
# 1株当たり配当の推移



# 1株当たりの当期純利益の推移



# 1株当たり純資産 (連結) の推移





# 平成 21年 3月期 業績予想

# 平成21年3月期業績予想



(単位:千円)

	今期	来期予想	増減額
売上高	6,597,867	6,560,000	37,867
営業利益	700,844	670,000	30,844
経常利益	985,802	920,000	65,802
税金等調整前当期純利益	983,228	920,000	63,228
当期純利益	600,178	580,000	20,178

# 平成21年3月期業績予想の概要



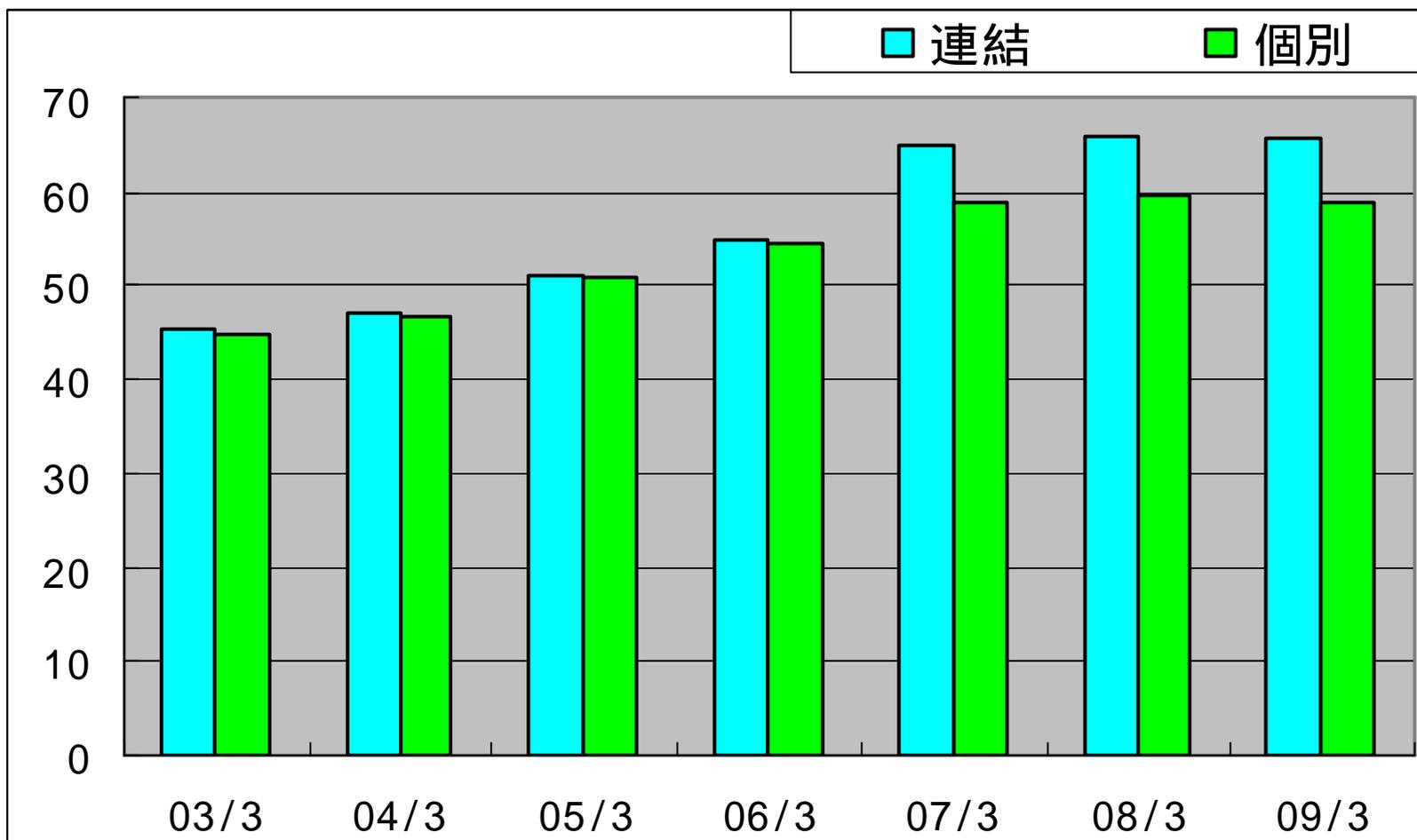
**連結売上高** :以下のとおりやや減収を予想しています。

世界的な景気減速が予測され、前年実績をやや下回る予想をしております。

**経常利益、当期純利益** 連結子会社や関連会社の業績は順調に推移するものと予想しておりますが、以下のとおりやや減益を予想しています。

売上高の減収  
高水準で推移する原材料価格や為替レート

# 売上高の推移



# 中期 7年計画について



2005年4月に中長期7年計画を策定いたしました。  
これは当社が今後も長期的で持続的な成長を続けられるよう目指すものであります。  
この計画の骨子としましては次の4点を基本としております。

- 1.新製品開発
- 2.市場占有率の向上
- 3.海外市場での販路拡大
- 4.社内教育体制の強化

現在のところ順調に推移しております。

# 配当政策



当社は株主に対する配当額の決定は最重要政策のひとつと考えており、基本的には利益に対応して配当性向30%以上を目標に配当額を決定する方針です。

当期の配当予想は、業績予想の結果を勘案し、1株当たり27円(前期比3円減配)とさせていただきます。

# 企業理念



フェア ビジネス

Y's a Business of Fair Endeavor

当社が掲げる企業理念は「フェアビジネス」。  
いつでも、どんな時にも、誰に対しても常にフェアに  
行動します。

そして、コーポレートガバナンスやコンプライアンス  
はもとより、誠実なプロポーザル&ソリューションを  
お客様に提供することも、私たちが考えるフェアビ  
ジネスの条件です。